

基本目標										モニタリング・検証					
施策	目標指標	基礎値	目標値	目標値 (修正後)	現況値 R2 (調査時点)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (最終結果)	5年間の検証(数値や金額等で具体的に明記)
事業	重要業績評価指標(KPI)														
基本目標1 安定した雇用を創出する															
	町内就業率(%) 【資料:国勢調査】	43.0	45.0		43.0									43.0	
施策1 雇用の創出と人材育成の促進															
①企業・工場誘致にかかる固定資産税の減免(ふるさと振興課、住民課)	新規進出企業または工場(社) 【資料:七宗町資料】	-	1		0	0	0	0	0	実施	実施	実施	実施	実施0	この5年間では、誘致可能な町有地が存在しないこともあり、進出企業はなかった。令和7年1月に七宗町雇用創出に係る企業誘致の固定資産税の減免に関する要綱の改正を行い、令和6年度改訂版総合戦略においても継続して企業・工場誘致を促進していきます。
②町民雇用優先事業(ふるさと振興課、住民課)	新規雇用者数(人) 【資料:七宗町資料】	-	10	13	0	0	3	4	3	実施	実施	実施	実施	13	平成30年1月に七宗町雇用促進奨励金交付要綱を制定し、奨励金の交付実績は、5年間で2件であった。令和6年度改訂版においても事業を継続し、広報などを通じた情報発信を行い、町内雇用者の増加に繋がっていきます。
③町内の求人・求職者の可視化(ふるさと振興課)	創業支援企業数(人) 【資料:七宗町資料】	-	10		2	2	4	2	0	実施	実施	実施	実施	10	七宗町広告掲載取扱要綱を制定し、広報誌やホームページ上で企業広告が掲載できるようにし、企業からの広告等について随時募集を行い、5年間で4事業者が求人広告を掲載した。令和6年度改訂版においても、引き続き、広報などを通じた情報発信を行い、要綱の周知や要綱の改善に努め、企業の求人等の情報提供を行っていきます。
④起業支援事業(ふるさと振興課)	七宗町資格取得助成金の利用件数(件) 【資料:七宗町資料】	-	10		1	1	0	0	1	実施	実施	実施	実施	1	平成30年1月に七宗町創業支援事業補助金交付要綱を制定し、補助金の交付を行った企業は、5年間で10件であった。そのうち、4件は、移住し起業されるケースであった。令和6年度改訂版においても事業を継続し、新規事業所を増やし雇用の創出に繋がっていきます。
⑤国家資格等の取得に伴う受講料補助(総務課)															七宗町資格取得助成金交付要綱を平成28年12月22日制定(平成29年4月1日施行)当面の目標件数の5件は達成したので、令和2年度に目標値を10件に変更した。結果として、令和6年度までの5年間には、3件の申請がありました。今後も引き続きPRを行い補助金制度は継続しますが、令和6年度改訂版においては削除します。
施策2 農林業の振興															
①農家を守る「農家維持推進事業」(ふるさと振興課)	「野彩ひろば」出荷農家数(件) 「野彩ひろば」売上(円) 【資料:七宗町資料】	40	200件 3,000万円		205件 1,346万円	213件 1,702万円	210件 1,734万円	212件 1,613万円	230件 1,857万円	実施	実施	実施	実施	実施	集荷体制と販売組織(野彩ひろば)を維持し農家の生産意欲の向上を図ることができた。R4年度からR6年度において件数の目標値200件の維持と販売額の向上が達成できた。R4年度に農林業施設の改修に係る分担金の率を下げ農業者の意欲向上を図った。令和6年度改訂版において、この事業としては削除しますが、「農林業生産資源の生産性の向上」事業を新たに掲げ推進していきます。
②里山・森林の有効活用に関する調査・整備(ふるさと振興課)										検討	検討	検討	検討	実施	R2年度に森林環境譲与税を活用し七宗町森林林業ビジョン検討委員会を組織、「七宗町森林・林業ビジョン」を策定。R2.4.5.6年度に今後の森林整備の意向を確認するための調査を実施した。今後も意向調査は実施していくが改訂版からは削除し、新たに町有林を主体とした森林の有効活用方法を検討するため、境界の明確化や森林の現況調査を実施。そこで得られた情報をもとに、伐採による木材の有効活用、森林体験学習イベントやハイキングコースなどのフィールドとなる森林の整備を推進していく。
③竹切りプロジェクト(ふるさと振興課)										実施	実施	実施	実施	実施	森林環境譲与税を活用し放置竹林の整備を実施。R5 2,145千円 R6 6,347千円改訂版においても引き続き継続実施する。目標値は5箇所とする。
④耕作放棄地の調査・可視化(ふるさと振興課)	農林業の生産額(百万円) 【資料:地域経済分析システム】	-	200		194	194	194	194	194	実施	実施	実施	実施	実施	農地パトロールの継続的な実施により農地利用状況の確認及び優良農地の保全を図り、耕作放棄地の拡大の減少に努めた。耕作放棄地の調査は令和6年度をもって終了するため、令和6年度改訂版においては、削除します。
⑤現場特定のための字絵図と航空写真の照合化(住民課)										実施	実施	実施	実施	実施	令和3年度に航空写真を撮影し、写真から現場の特定に役立てると同時に、字絵図においても適正な更新や管理に努め、5年間で、地図訂正を197筆行った。令和6年度改訂版には盛り込まないが、引き続き、この取り組みは継続していく。
⑥農林業の後継者育成・新規就農支援事業(ふるさと振興課)	農林業の従業者数(人) 【資料:地域経済分析システム】	63	80		56	56	56	56	42	実施	実施	実施	実施	42	若年層の新規就農者の発掘と就農支援に努めた。R6年度現況値42人 令和6年度改訂版においても継続し、担い手の受け入れや人材育成の支援を推進し耕作放棄地の減少にも繋がるような取り組みを図ります。

基本目標										モニタリング・検証					
施策	目標指標	基礎値	目標値	目標値 (修正後)	現況値 R2 (調査時点)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (最終結果)	5年間の検証(数値や金額等で具体的に明記)
事業	重要業績評価指標(KPI)														
基本目標2 新しいひとの流れをつくる															
	観光入込客数(万人) ※ロックタウンプラザ、日本最古の石博物館の入込客数(延べ人数) 【資料:岐阜県観光入込客統計調査】	23.8	25.0		10.0	13.0	12.0	14.8	14.7					14.7	
	人口の社会増減(人) 【資料:「岐阜県・市町村の現状」県内・県外等別転入転出差の推移】	▲ 56	▲ 30			▲ 36	▲ 11	▲ 71	▲ 4					▲ 25	
施策1 七宗町のPR															
①ゆるキャラレッキーの着ぐるみ製作(ふるさと振興課)	七宗町X(旧ツイッター)フォロワー数	-	7,000		5,439	5,439	4,727	5,154	6,513	実施	実施	実施	実施	5,875	着ぐるみは平成28年に製作したものを活用し、サービスエリアにて行われた観光PRや、FC岐阜のホームタウンデーにおいて来場者へのPRに活用した。また、東京や、愛知県での移住イベントや、観光PRイベントにおいては、ゆるキャラグッズのプレゼント企画を行い、県外へのPRも実施した。令和6年度改訂版からは削除するが、今後も県内外でのイベントへの参加や各課のイベントと絡めてゆるキャラを通して町をPRしていきます。
②プロモーションビデオ・リーフレットの作成(ふるさと振興課)										実施	実施	実施	実施	5,875	令和2年度、レッキー君レッキーちゃん新婚旅行動画を作成し、twitterを通して動画視聴の呼びかけを実施。令和5年度、観光スポットやお食事処をまとめたQR付きの観光パンフレットを作成。令和6年度、飛水峡パンフレットを作成。今後も観光PVや、公式Youtubeチャンネルへの投稿、日本最古の石博物館での常時PR動画の放映を通じて七宗町の魅力を伝えていきます。令和6年度改訂版においては、デジタルコンテンツも活用し七宗町への人の流れをつくります。
③石の町プロジェクト(ふるさと振興課)										実施	実施	検討	検討	検討	「石の町」として各家庭の石の表札の利用促進など全町的に統一感のある街並みの形成を促進するよう進める予定でしたが、難しい状況でした。令和6年度改訂版において、削除しますが、今後も足立守教授による講演会の実施や、日本最古の石博物館の企画展などの情報発信も行います。また、島根県津和野町で発見された25億年前の石も譲り受け展示できており、日本最古の石のある町としてPRしていきます。
④民間企業との連携による特産品開発(ふるさと振興課)										実施	実施	実施	実施	5,875	七宗町特産品開発支援事業補助金交付要綱を活用した団体が令和4年度1団体あった。令和6年度改訂版からは削除するが、引き続き、この制度のPRを行いながら、新たな特産品開発に繋げ、ふるさと納税の返礼品として商品化し、七宗町のPRに繋げていきます。
⑤地域特性を生かした観光産業の育成・PR(ふるさと振興課)										実施	実施	実施	実施	5,875	令和2年度、令和3年度はコロナ禍により、積極的な観光PRを行うことはできなかったが、その後は愛知県やサービスエリア等での物産展や観光PR展に参加し、PRを行った。令和6年度改訂版においても継続し、県外や七宗の道の駅等でイベントを開催し、町内の企業や観光PRなど、七宗の施設等への来場者の増加を図り、地域の活性化を目指します。
⑥復活！蒸気機関車(総務課、ふるさと振興課)										検討	検討	検討	検討	検討	駅前開発計画内に設置されており、開発計画の進捗と同時の検討としているが、この5年間は進展がなかった。令和6年度改訂版からは削除としているが、今後も蒸気機関車だけでなく駅前開発も含め検討していく。

基本目標										モニタリング・検証					
施策	目標指標	基礎値	目標値	目標値 (修正後)	現況値 R2 (調査時点)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (最終結果)	5年間の検証(数値や金額等で具体的に明記)
事業	重要業績評価指標(KPI)														
施策2 観光の振興															
①日本最古の石博物館の入館者増員対策事業(ふるさと振興課)	日本最古の石博物館の年間入館者数(人/年) 【資料:岐阜県観光入込客統計調査】	10,268	12,000		6,432	7,483	0	11,877	12,543	実施	実施	実施	実施	13,226	令和2年度、令和3年度はコロナ禍により、来館者を増やす企画ができなかったこともあったが、その後は様々な年齢層をターゲットにした企画展を開催し誘客を図った。令和6年度改訂版においても継続して実施し、体験型イベント等の企画により入館客増員を図ります
②植物観察ツアーの創設(水道環境課、ふるさと振興課)										実施	実施	実施	実施	実施	【みのかも定住自立圏】生物多様性地域連携促進事業による自然環境基礎調査と連携し取り組む。その調査結果や研究等を基に「守りたい 加茂の豊かな自然 子ども版」を令和4年7月に作成しました。令和4年、各小学校の4・5・6年生に配布。令和5年度～7年度にかけ、小学校4年生に継続的に配布し、活用していただく。町部数 600部 令和6年度 18部 令和5年度 20部 令和4年度 各学校 98部 その他 50部を配布。地域の生物多様性の保全、意識を高められるよう、冊子等をイベントなどで配布、観察ツアーも継続的に活動ができるよう進めていく。
③Power Spot in かぶち(ふるさと振興課、教育課)	神淵神社の年間参拝者数(人/年) 【資料:七宗町資料】	-	1,500		200	200	420	500	500	検討 実施	検討 実施	実施	実施	実施 500	コロナの影響により、神淵神社の例大祭が神事のみで開催となっており、観光客の集客が減少傾向にあるが、神社までの舗装工事や退避所の整備を行い、平常時の参拝客も増やせるような手立てを行いました。令和6年度改訂版からは削除しますが、祭りの際には、必要に応じてマイクロバスを運行するなど交流人口の増加を図っていきます。
④飛水峡(ロックガーデン)の整備(ふるさと振興課)	ロックタウンプラザ来客数(万人/年) 【資料:岐阜県観光入込客統計調査】	-	18		10.0	11.7	12.0	12.1	13.5	実施	実施	検討 実施	検討 実施	検討 実施	飛水峡ロックガーデンの集客力向上を目指し、草刈やトイレの掃除を随時実施した。令和6年度改訂版においても事業を継続し、ボランティアの探索ガイドの養成を図りながら、周辺の乗り入れ道路の状態も随時確認し、来訪者が安全に観光できるよう環境整備を実施していきます。
⑤納古山登山道の整備(ふるさと振興課)										検討 実施	実施	検討 実施	検討 実施	検討 実施	中級コースの入り口にある2基のトイレについて、定期的に清掃と汲み取りを実施している。納古山は、来訪者も多く大変人気なスポットであるが、登山道は個人所有となっているので、地元団体が中心となり登山道整備を行っていただけるように令和6年度改訂版においても継続し、進めていきます。
⑥河川公園の整備(建設課、ふるさと振興課)										検討	検討	1箇所 整備	検討	検討	令和4年度に神淵川沿いに新たな河川公園を1カ所整備したが、整備箇所が橋の下で利用状況が分かりづらいため、今後整備する箇所は、第三者にアピールできる場所や他の事業と共同で行うよう検討する。令和6年度改訂版においても事業を継続し、利用状況や水辺の環境整備で他にできることを検討していきます。
⑦山村留学体験事業(教育課)										実施	実施	検討	検討	検討	平成30年度4月～12月まで、小学生2人の山村留学生を受け入れた。山村留学を検討している方に学校や住宅を案内しPRした。令和5年度は3件問い合わせがあり、令和6年度より1件受入れ。令和6年度改訂版においても継続し、移住・定住の促進にも繋がります。
⑧田舎に泊まろうプロジェクト(ふるさと振興課)	「のこ山」宿泊数(人/年) 【資料:七宗町資料】	-	140		69	99	142	98	100	実施	実施	実施	実施	実施 143	令和6年度は143人宿泊された。町内にある唯一の宿泊場所であり、多くの方が宿泊されている。令和6年度改訂版においても継続し、関係人口の創出につながるよう連携を図っていきます。

基本目標										モニタリング・検証					
施策	目標指標	基礎値	目標値	目標値 (修正後)	現況値 R2 (調査時点)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (最終結果)	5年間の検証(数値や金額等で具体的に明記)
事業	重要業績評価指標(KPI)														
施策3 移住・定住の促進															
①住環境整備による移住・定住の促進(ふるさと振興課)	空き家の利用件数(件/年) 【資料:七宗町資料】	-	5	20	1	1	3	3	10	実施	実施	実施	実施	4	5年間で21件の空き家の利用があった。空き家セミナー等を開催し、空き家利活用の必要性を積極的にPRし、早めの空き家登録を周知してきました。令和6年度改訂版においても継続して実施し、空き家の解消に努め、また、家財処分に対する補助金制度の新設も検討していきます。
②定住促進に向けた住宅取得にかかる固定資産税の減免(住民課)	新規住宅数取得件数(8件/年) 【資料:七宗町資料】	-	5		10	11	8	1	5	継続	継続	継続	継続	5	5年間で30件の実績があった。自主財源を確保するため、令和8年1月1日までの取得を最終として、要綱の継続は行わない。
③移住・定住パンフレットの作成(ふるさと振興課)	移住世帯数(件/年) 【資料:七宗町資料】	-	5	20	4	6	7	5	5	実施	実施	実施	実施	6	5年間で29世帯の移住があった。パンフレットの活用やイベント等を行い、移住世帯の増加を図りました。令和6年度改訂版では削除しますが、今後も移住・定住のPR活動を積極的に行っていきます。また、移住者が地域のルールを理解できるよう「地域の教科書」を作成し、定住後の問題解決に繋がるようにしていきます。
④(仮称)移住交流相談センターの創設(ふるさと振興課)										検討	実施	実施	実施	完了	移住交流サポートセンターへの問い合わせ件数は5年間で1152件であった。移住希望者が年々増加しており、今後も増加することが予想される。令和6年度改訂版においては、移住交流センターの創設という事業は、削除しますが、今後も移住者へのアフターフォローとして、移住者を対象とした交流の場を設けるなど、移住者が地域に馴染み生活できるようにサポートしていきます。
⑤東京圏からの移住支援事業(ふるさと振興課)	東京圏からの移住世帯数(世帯/年) 【資料:七宗町資料】	-	1		0	0	0	0	0	実施	実施	実施	実施	0	5年間で東京圏からの移住世帯は0であった。令和6年度改訂版においても継続し、岐阜県と連携し、県が運営する東京圏在住者と町内中小企業等を対象としたマッチングサイトを活用して、町内に移住し就業・起業したものに対する支援金制度を利用し、移住による就業等や町内企業等の人材確保を促進し、東京一極集中の是正を図れるようにしていきます。
⑥地域おこし協力隊員の配置(ふるさと振興課、教育課)	地域おこし協力隊(延べ人数) 【資料:七宗町資料】	-	7	10	1	1	3	2	2	1	3	2	2	8	5年間で延べ8名の隊員を受け入れを行った。その内、1名は退任後も七宗町に定住し、引き続き建具作製技術の継承に務めている。現在任用中の隊員についても、退任した後も定住してもらえるような積極的なサポートをしています。令和6年度改訂版においても事業を継続し、町の活性化に力添えをしてくれる人材を受け入れることができるよう各地でのイベントやホームページ等で積極的に募集をしていきます。

基本目標										モニタリング・検証					
施策	目標指標	基礎値	目標値	目標値 (修正後)	現況値 R2 (調査時点)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (最終結果)	5年間の検証(数値や金額等で具体的に明記)
事業	重要業績評価指標(KPI)														
基本目標3 出産・子育ての希望をかなえる															
	合計特殊出生率 【資料:人口動態保健所・市区町村別統計(厚生労働省)】	1.37	1.50		1.37									1.46	
	「子育てや教育のしやすさ」が満足と思う住民割合[アンケート調査](%) 【資料:アンケート調査】	16.1	50.0		16.1									7.9	
施策1 子育て支援の充実															
①不妊治療費の助成(健康福祉課)	不妊治療費助成件数(件/年) 【資料:七宗町資料】	-	3		1	1	2	1	-	3	3	1	-	-	令和4年4月から不妊治療が保険適用。令和6年度改訂版からは削除する。
②子育て支援メールの配信(健康福祉課)										59	70	76	84	85	平成30年度から実施。例年配信してきた母子保健行事の案内に加え、おはなし会(木の国七宗コミュニティセンター実施)や感染症に関する内容、県内で行われる講演会等の情報を配信した。令和6年度改訂版においても事業を継続し、情報発信を推進します。
③町立保育園の保育料負担軽減(教育課)										実施	実施	継続	継続	継続	現在軽減を続行中(令和元年10月より保育料無料(3歳児以上)・2人目半額・3人目無料・副食費無料)令和2年度 56人、令和3年度 53人、令和4年度 50人、令和5年度 43人、令和6年度 47人 令和6年度改訂版においては、削除します。
④奨学金返済の支援(教育課)	子育て世帯数(未就学児をもつ世帯)(世帯数) 【資料:七宗町資料】	-	80		73	81	53	50	60	検討	検討	検討	検討	実施	他町村の状況等を調査しながら検討していく。 令和6年度改訂版総合戦略では町民の町内での雇用の確保と定住を目標に実施していきます。
⑤子育て世帯へのゴミ袋の無料配布(健康福祉課)										24	29	25	21	28	平成28年度から実施している。令和6年度改訂版においても事業を継続し、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育てしやすい環境づくりに寄与することを目的に支援していきます。
⑥子育て支援施設の開設(教育課)										実施	検討	検討	検討	検討	現在、第1保育園の一角で子育て支援センターを開設している。 令和2年度に子育て支援施設等整備基本構想を策定。また、子育て相談も行っている。 令和6年度改訂版においては削除します。
施策2 児童保育・学校教育の充実															
①保育園・小学校・中学校の校種間連携(教育課)										継続	継続	継続	継続	継続	LSS(生活・学習・支援)を合言葉に、小中学校・保育園が縦の連携、基礎学力の定着のため、各園・学校で公開授業を実施した。(令和4年度:14人・令和5年度:14人・令和6年度:14人) 小中学校の生徒指導主事・養護教諭・図書担当教諭等が、保育園担当者・保健師と情報共有と研修を行った。 令和6年度改訂版においては、削除します。
②ICT教育の充実(教育課)	校種間連携による教育活動の実施回数(回/年) 【資料:七宗町資料】	12	20		14	14	14	14	14	実施	実施	実施	継続	継続	平成27年度に両小学校の児童用パソコン(38台)の更新及び平成28年度にタブレット端末(20台)を導入した。 平成30年度に両中学校のパソコン教室のパソコン(38台)を更新した。 令和元年度から令和3年度に小中学校に電子黒板を整備(各校3台) 令和2年度に小中学校の全児童生徒にタブレット端末整備(163台) 令和2年度に小中学校の校内通信ネットワーク(wifi)を整備 令和2年度に指導者用タブレットを整備(20台) 令和3年度に両小学校へ大型液晶モニターを整備(2台) 令和3年度にデジタル教科書を整備(指導者用:小学校は国語、中学校は数学・理科) 令和4年度に指導者用タブレットを整備(10台) 令和4年度に両小学校へ大型液晶モニターを整備(2台) 令和4年度にデジタル教科書を整備(学習者用:小学校は算数、中学校は数学) 令和4年度に両小学校に電子黒板を整備(6台) 令和7年度にタブレット230台を新たに購入予定(児童生徒用+教師用+予備機) 令和6年度改訂版においても継続し、ICTをより効率的に活用した授業実践ができるよう、環境を整備します。

基本目標										モニタリング・検証					
施策	目標指標	基礎値	目標値	目標値 (修正後)	現況値 R2 (調査時点)	実績値 R2	実績値 R3	実績値 R4	実績値 R5	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (最終結果)	5年間の検証(数値や金額等で具体的に明記)
事業	重要業績評価指標(KPI)														
基本目標4 安心で快適な暮らしを守る															
	「災害に対する安全性」が不満と思う住民割合[アンケート調査](%) 【資料:アンケート調査】	34.9	20.0		34.9									29.2	
	「日常の買い物の利便性」が不満と思う住民割合[アンケート調査](%) 【資料:アンケート調査】	77.0	60.0		77.0									86.1	
施策1 安心・安全の確保															
①二世帯以上の同居世帯定住促進(住民課)	新築による二世帯以上の同居世帯数(世帯) 【資料:七宗町資料】	-	10		0	0	0	0	0	検討	検討	検討	検討	見送り	時代の流れとともに核家族化が進んでおり、5年間で二世帯住宅の新築はありませんでした。自主財源の確保の観点から、施策は見送りとします。
②備蓄機能を有する店舗の誘致(総務課、ふるさと振興課)	新規店舗開業件数(件/年) 【資料:七宗町資料】	-	1		0	0	0	0	0	検討	検討	実施検討	実施検討	検討	既存の店舗が廃業をしており、一時的な公的な支援だけで経営は困難であり、検討に時間を必要とする。R4年度にホームセンター、令和6年度にはドラッグストアと災害協定を締結することにより、災害時の物資を確保できた。令和6年度改訂版においても店舗の誘致は引き続き検討していく。
③独居老人の安否確認システムの検討(健康福祉課)	システム利用件数(件) 【資料:七宗町資料】	-	10		-	-	-	-	-	検討	検討	検討	検討	検討	現状、民生委員児童委員、福祉委員による家庭訪問、声掛けや見守りを実施している。ボランティア団体による給食サービス、社会福祉協議会が行っている「安心電話」などで概ねカバーできていると考えているため、令和6年度改訂版からは安否確認システムとしては削除するが、安否確認については引き続き実施していく。
④居宅介護の充実(健康福祉課)	施設介護給付費(千円) 【資料:七宗町資料】	-	240,000		179,000	235,895	226,630	234,283	235,534	実施	226,630	234,283	235,534	233,000	介護保険認定者には、居宅で受けられる介護サービスの情報提供をしている。住み慣れた地域で最後まで過ごせるよう、運動教室や地域ケア会議を実施し、地区でのサロンを充実させていく。R4年度実績 234,283千円 R6年度見込 233,000千円 令和6年度改訂版からは削除するが、今後も地域で最後まで暮らせるよう居宅介護の充実に努めていく。
施策2 地域コミュニティの活性化															
①コミュニティセンターの有効利用(教育課)	集いの場つくりの実施地区数(地区) 【資料:七宗町資料】	-	2		2	2	2	2	2	実施	2	2	2	2	神洲コミュニティセンターのロビーにスペースを作り、いつでも利用できるようにした。木の国七宗コミュニティセンターでは談話室を利用できるようにしている。令和6年度改訂版においても継続し、地域住民の憩いの場として活用します。
②高齢者の集いの場つくり支援事業(健康福祉課)		-	14		-	13	11	9	10	検討	9	9	10	14	七宗町社会福祉協議会に生活支援コーディネーターを委託し、町と生活支援コーディネーターと協議をしながら、各地区に集いの場の設置を目指す。休止の団体があり、生活支援コーディネーターが活動再開できるように支援をしていく。R6年度は14団体を予定し、活動の支援とともに新規開拓を行う。令和6年度改訂版においても事業を継続し、気軽に集まれる居場所づくりを支援していきます。
施策3 生活利便性の向上															
①移動販売車の貸与または補助金交付(ふるさと振興課)	移動販売車の導入件数(台) 【資料:七宗町資料】	-	2		0	0	0	1	0	実施	継続	継続	継続	1	平成30年1月に七宗町移動販売事業用車両購入費等補助金交付要綱を制定し、補助金の交付を行ったのは1件であった。補助金を交付した事業者は現在も事業を行っている。令和6年度改訂版においても事業を継続し、町内を回る移動販売車の増加につなげ、買い物弱者支援に繋がります。
②高齢者の買い物等支援(健康福祉課)	「日常の買い物の利便性」が不満と思う住民割合[アンケート調査](%) 【資料:アンケート調査】	-	60		-	-	-	-	-	実施	継続	継続	継続	86.1	平成30年度から社会福祉協議会による生活支援バスを運行し、平成31年4月より上麻生コース、令和元年7月より神洲町内コースを運行し、令和4年11月から白川町行コースを開始した。また、令和6年2月より月に1回白川町行コースを川辺町行コースに変更。利用者の声に合わせてコースや時間の変更を行い利用しやすいように随時見直しを行っている。令和6年度版においても事業を継続し、買い物の利便性向上に努めていきます。
③税金等のコンビニエンスストア及びスマートホン決済による支払い(住民課)	コンビニエンスストア利用等による支払い件数(1700件/年) 【資料:七宗町資料】	-	1,700		1,591	1,439	1,642	1,730	1,537	実施	継続	継続	継続	1,600 (見込み)	令和5年度からは、一部の税金(町県民税、固定資産税、軽自動車税)がQRコード決済に対応し、納付の方法を拡充した。今後も引き続き、ホームページや広報等により制度の周知を図っていくとともに、令和7年度からは、eLTAX及びeL-QRを活用した公金収納のデジタル化の取り組みを推進していきます。
④有害鳥獣の駆除と活用方法の確立(ふるさと振興課)	計画の作成及びシステムの確立(件) 【資料:七宗町資料】	-	1		-	-	-	-	-	実施検討	実施検討	実施検討	実施検討	実施検討	七宗町猟友会の協力を得て鳥獣被害対策実施隊を設置し、シカ・イノシシ・サルなどR5年度206頭、R6年度266頭(見込)の被害防止捕獲を実施した。また、農作物鳥獣防除対策補助金を活用し農業者への支援や実施隊による駆除は実施していくが、ジビエ等での有効活用については、ニーズがないため令和6年度改訂版からは、削除する。